







問9 将来どこでくらしたいですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1. 自宅（アパート、借家などを含む）
- 2. グループホーム
- 3. 福祉施設（入所）
- 4. 医療的ケアのある施設・病院
- 5. その他（ ）

問10 問9で「1. 自宅」に○をつけられた方にお聞きします。

将来だれと一緒にくらしたいですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1. ひとりぐらし
- 2. 家族
- 3. その他（ ）

問11 ご近所の方とはどのようなお付き合いをされていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1. 困ったときに助け合える程度（具体的に ）
- 2. 互いに訪問し合う程度
- 3. 立ち話をする程度
- 4. 顔を合わせたらあいさつする程度
- 5. ほとんど付き合いはない

新4 あなたがコロナ禍で困ったことは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1. 感染予防・対策が負担だった（マスクの着用や消毒等）
- 2. 医療機関の受診ができなかった・できにくかった
- 3. 外出を自粛したため、ストレスがたまった
- 4. 体力が低下するなど、健康維持ができにくかった
- 5. 収入が減った
- 6. サービス利用ができなかった・できにくかった
- 7. 人との交流が減り、気持ちが落ち込んだ
- 8. 困りごとの相談ができなかった
- 9. その他（ ）
- 10. 特に困ったことはなかった



問 16 ①現在、次にあげる障がい福祉サービスを利用していますか。また、②今後利用したいですか。それぞれどちらかに○をつけてください。

※ 障がい福祉サービスとは、市役所が発行している障がい福祉サービス受給者証（黄色）を用いて、ヘルパーを利用したり、作業所などに通所したりするものです。

(障がい福祉サービスごとに、それぞれどちらかに○)		
(1) 居宅介護・重度訪問介護 ホームヘルパーが住まいを訪問し、介護や外出の支援などを行うサービス	①現在、利用していますか	1. はい 2. いいえ
	②今後、利用したいですか	1. はい 2. いいえ
(2) 行動援護・同行援護 障がいのある人等に、外出の際の移動を支援するサービス	①現在、利用していますか	1. はい 2. いいえ
	②今後、利用したいですか	1. はい 2. いいえ
(3) 短期入所 家族が病気などで介護ができなくなったとき、短い期間、施設で介護を行うサービス	①現在、利用していますか	1. はい 2. いいえ
	②今後、利用したいですか	1. はい 2. いいえ
(4) 生活介護 施設等で、主に昼間に入浴や排せつ、食事の介護、創作活動や生産活動の機会を提供するサービス	①現在、利用していますか	1. はい 2. いいえ
	②今後、利用したいですか	1. はい 2. いいえ
(5) 自立訓練（機能訓練・生活訓練） 施設や住まい等で、自立して生活するための日常生活を営むのに必要な訓練やリハビリテーション、相談等を行うサービス	①現在、利用していますか	1. はい 2. いいえ
	②今後、利用したいですか	1. はい 2. いいえ
(6) 就労移行支援・就労継続支援 A・B 就労に必要な知識や能力の向上のための訓練や、施設等で働く場を提供するサービス	①現在、利用していますか	1. はい 2. いいえ
	②今後、利用したいですか	1. はい 2. いいえ
(7) 就労定着支援 仕事をしている障がいのある人等が仕事を続けられるよう、職場や家族との連絡調整や指導・助言等を行うサービス	①現在、利用していますか	1. はい 2. いいえ
	②今後、利用したいですか	1. はい 2. いいえ
(8) 自立生活援助 施設や病院から出てひとりぐらしを希望する障がいのある人等に対して、住まいへの定期的な訪問や、メールや電話での相談対応を行うサービス	①現在、利用していますか	1. はい 2. いいえ
	②今後、利用したいですか	1. はい 2. いいえ
(9) グループホーム 障がいのある人等に、共同生活を送る住まいを提供し、介護や日常生活の支援を行うサービス	①現在、利用していますか	1. はい 2. いいえ
	②今後、利用したいですか	1. はい 2. いいえ



(1) 居宅介護・重度訪問介護を利用している方	→ 問 17 に進んでください
どのサービスも利用していない方	→ 問 18 に進んでください

問 17 (1) 居宅介護・重度訪問介護を利用している方にお聞きします。  
どのくらいの期間、サービスを利用していますか。およその期間を数字で記入してください。(1年未満の場合は0とご記入ください。)

( )年

問 18 問 16「①現在、利用していますか」で、すべて「2. いいえ」に○をつけられた方にお聞きします。(現在サービスを利用していない方)  
現在、福祉サービスを利用していない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 家族などの介助で十分だから
2. 困っていることを解消するサービスがないから

困っていること(具体的に)

3. 福祉サービスを利用する金銭的な余裕がないから
4. 他人の世話になるのは抵抗を感じるから
5. 他人に家庭に入ってきてほしくないから
6. 福祉サービスを利用することに抵抗を感じるから
7. 利用したいサービスを提供している事業所の定員に空きがないから
8. 障がい(疾病)が重度であるため、サービスを提供する施設に移動できないから
9. 医療的ケアを提供できる事業所がないから
10. 福祉サービスを利用する方法がわからないから
11. 福祉サービスがあることを知らなかったから
12. その他( )

## 相談についてお聞きします

問 19 悩みや困ったことを相談する相手はだれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| 1. 家族         | 2. 同じ疾病を持つ友人・知人 |
| 3. 2以外の友人・知人  | 4. 病院などの医療機関    |
| 5. 施設や事業所の職員  | 6. 市役所の窓口       |
| 7. 相談支援センター   | 8. いない          |
| 9. 困っていることはない | 10. その他( )      |

問 20 障がい者生活支援センター（春日苑、かすがい、JHNまある、あっとわん）、基幹相談支援センター（しゃきょう）について知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。ひとつでも知っていれば、「知っている」としてください。

1. 知っている
2. 聞いたことはあるが、よくわからない
3. 知らない、聞いたことがない

問 21 障がい者生活支援センターもしくは基幹相談支援センターに相談をしたことがありますか。どちらかに○をつけてください。

1. ある 
2. ない  問 24 へ

問 22 問 21 で「1. ある」に○をつけられた方にお聞きします。

障がい者生活支援センター、基幹相談支援センターについて満足していますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. 満足している
2. やや満足している
3. やや不満がある
4. 不満がある

問 24 へ

問 23 問 22 で「3. やや不満がある」、「4. 不満がある」に○をつけられた方にお聞きします。

どのような点に不満を感じましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 相談員が十分な知識を持っていない
2. 相談員が話をよく聞いてくれない
3. 自分の意見を尊重してくれない
4. 相談員がよく替わる
5. 困っていることが解消されない
6. 相談室にプライバシーが保たれていない
7. その他（ ）

問 24 障がい者生活支援センター、基幹相談支援センターで相談していること、相談したいと思うことは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 日常生活（お金や生活の悩みなど）に関する事
2. 障がい福祉サービス（ヘルパーや施設）の利用に関する事
3. 仕事に関する事
4. 成年後見制度<sup>※1</sup>や虐待など権利擁護<sup>※2</sup>に関する事
5. 学校などでの対応のこと
6. なんとなく不安に思うこと
7. その他（ ）
8. 特になし

※1 成年後見制度とは、判断能力が不十分な人が契約等の法律行為ができるよう、家庭裁判所が判断能力の程度に応じて補助人、保佐人、成年後見人を選任する民法上の制度です。

※2 権利擁護とは、自分で物事を判断することが難しい人の人権を守ることです。



## 保健・医療についてお聞きします

問 25 風邪、歯の治療などすべての医療について、最近3か月で、病院にどれくらい通院しましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- |           |             |
|-----------|-------------|
| 1. 月に1回程度 | 2. 2週間に1回程度 |
| 3. 週に1回程度 | 4. 週に2～4回程度 |
| 5. 週に5回以上 | 6. 通院していない  |

問 26 風邪、歯の治療などすべての医療費は、1か月あたりいくら負担していますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 1. 0円              | 2. 1円～3,000円未満  |
| 3. 3,000円～5,000円未満 | 4. 5,000円～1万円未満 |
| 5. 1万円～3万円未満       | 6. 3万円以上        |

問 27 医療について、困ったことや不便に思ったことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 障がい（疾病）に配慮してもらえない
2. 通院するときに付き添いをしてくれる人がいない
3. 気軽に往診を頼める医師がいない
4. 障がい（疾病）のため症状を正確に伝えられない
5. 医療費の負担が大きい・できない
6. 障がい（疾病）が重度でいつも介護を必要とするため、入院できない
7. その他（）
8. 特に困ったことはない

## 余暇活動についてお聞きします

問 28 1週間のうちに自分の楽しみに使う時間はどれくらいありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1. ほとんどない   | 2. 1～5時間程度   |
| 3. 6～10時間程度 | 4. 11～20時間程度 |
| 5. 21時間以上   |              |

問 29 自分の楽しみに使う時間をどのように過ごしていますか。主なものに3つまで○をつけてください。(無理に3つ選ぶ必要はありません。)

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1. 友人と会う        | 2. 買い物に行く       |
| 3. 散歩をする        | 4. 映画や演劇を見に行く   |
| 5. スポーツ観戦をする    | 6. レストラン、喫茶店に行く |
| 7. 読書をする        | 8. テレビを見る       |
| 9. ゲームをする       | 10. スマートフォンを見る  |
| 11. 音楽を聴く       | 12. 運動をする       |
| 13. 旅行をする       | 14. その他 ( )     |
| 15. 楽しみに使う時間がない |                 |

問 30 自分の楽しみに使う時間を、今後どのように過ごしたいですか。主なものに3つまで○をつけてください。(無理に3つ選ぶ必要はありません。)

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| 1. 友人と会う     | 2. 買い物に行く       |
| 3. 散歩をする     | 4. 映画や演劇を見に行く   |
| 5. スポーツ観戦をする | 6. レストラン、喫茶店に行く |
| 7. 読書をする     | 8. テレビを見る       |
| 9. ゲームをする    | 10. スマートフォンを見る  |
| 11. 音楽を聴く    | 12. 運動をする       |
| 13. 旅行をする    | 14. その他 ( )     |

## 仕事や働くこと等についてお聞きします

問 31 現在の仕事などの状況について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. フルタイムで働いている

2. パート・アルバイト等で短時間の仕事をしている

3. 自営業で働いている

問 36 へ

4. 職業の訓練施設に通っている、または就労移行支援事業所を利用している

5. 就労継続支援A型事業所を利用している

6. 就労継続支援B型事業所を利用している

7. 生活介護や地域活動支援センターで生産活動を行っている

8. 自宅の家事をしている（主婦、主夫、家事の手伝い）

9. その他（

）

問 37 へ

10. 働いていない

●問 32～問 35 は、問 31 で「10. 働いていない」に○をつけられた方にお聞きします。

問 32 以前は働いていましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. フルタイムで働いていた

2. パート・アルバイト等で短時間働いていた

3. 自営業で働いていた

4. 職業の訓練施設に通っていた、または就労移行支援事業所を利用していた

5. 就労継続支援A型事業所を利用していた 6. 就労継続支援B型事業所を利用していた

7. 就労定着支援を利用していた

8. その他（

9. 働いたことはない

問 33 現在、働いていない理由は何ですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. 学生

2. 定年退職した

3. 仕事がみつからない

4. 障がい（疾病）のため仕事ができる状態でない

5. 病院のデイケアや日中一時支援に通っている

6. 入院している、施設に入所している

7. その他（

問 34 65歳未満の方にお聞きします。

今後働きたいと思いますか。どちらかに○をつけてください。

1. 働きたい

2. 働きたくない

問 35 **65 歳未満の方にお聞きします。**

どのような支援や配慮があったら働けるとお思いますか。主なものに3つまで○をつけてください。(無理に3つ選ぶ必要はありません。)

1. 会社などで働くための指導や訓練
2. 障がい(疾病)に応じて短時間の就労などができること
3. 職場に障がい(疾病)に応じた設備があること
4. 職場の人たちが障がい(疾病)のことを理解すること
5. 職場内で相談をする人がいること
6. 通勤する方法や通勤の手助け(介助等)があること
7. 仕事や職場に慣れるまで、助けてくれる人がいること
8. 仕事の悩みを相談できる専門的な施設や人がいること
9. 仕事以外の悩み(生活リズムや体調の管理、給料の使い方)について相談できること
10. その他( )
11. 特に必要ない

問 36 **問 31 で「1」～「3」(働いている)に○をつけられた方にお聞きします。**

現在の仕事について不安や不満はありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 職場の設備が整っていない(バリアフリーになっていないなど)
2. 職場まで通うのが大変
3. 職場の人と仲良くできない
4. 収入・手当が少ない
5. いつ職場をやめさせられるか不安である
6. 職場に相談する人がいない
7. 職場に言葉の暴力やいじめがある
8. 仕事が自分にとって難しい
9. 自分のやりたい業務に就けない
10. 毎日働くことができない
11. 勤務時間が長い
12. 職場以外で相談できる専門的な機関・人がいない
13. 仕事以外の悩み(生活リズムや体調の管理、給料の使い方)が生じている
14. 職場で障がい(疾病)に対する理解が進んでいない
15. その他( )
16. 特にない

問 37 **すべての方にお聞きします。**

就業・生活支援センター(尾張北部障害者就業・生活支援センターようわ)について知っていますか。また、利用したことはありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。


1. 知っているし、利用したことがある
2. 知っているが、利用したことはない
3. 聞いたことはあるが、よくわからない
4. 知らない、聞いたことがない

## 生活環境についてお聞きします

問 38 この1年（令和3年10月1日～令和4年9月30日）のあいだにどの程度外出（通勤・通学・通院等を含む）しましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. 毎日         | 2. 1週間に3～6日程度 |
| 3. 1週間に1～2日程度 | 4. 2週間に1～2日程度 |
| 5. 1か月に1～2日程度 | 6. 1年に数日程度    |
| 7. 外出していない    |               |

問 39 外出をするときに支援は必要ですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1. いつも支援が必要
  - 2. 慣れた場所にはひとりで行けるが、それ以外は支援が必要
  - 3. 普段はひとりで行けるが、調子が悪いときは支援が必要
  - 4. その他（ ）
  - 5. いつもひとりで外出できる
- 

●問 40、問 41 は、問 39 で「1」～「4」に○をつけられた方にお聞きします。

問 40 ひとりで外出できない場合、どのように外出していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1. 福祉サービス（移動支援、行動援護、同行援護、重度訪問介護など）を利用している
- 2. 有料サービス（福祉タクシー、介護タクシー、有償運送など）を利用している
- 3. 事業所などの送迎を利用している
- 4. 家族に付き添ってもらっている
- 5. 友人や知人、ボランティア等に付き添ってもらっている
- 6. その他（ ）
- 7. 外出していない

問 41 通勤・通学以外で外出する際の支援として、福祉サービスをどの程度利用したいですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. 毎日         | 2. 1週間に3～6日程度 |
| 3. 1週間に1～2日程度 | 4. 2週間に1～2日程度 |
| 5. 1か月に1～2日程度 | 6. 1年に数日程度    |
| 7. 利用したくない    | 8. わからない      |

## 情報の入手手段についてお聞きします

問 42 福祉などの情報（県や市が行う福祉サービスやイベント、法律・制度のことなど）を得る手段は何ですか。主なものに3つまで○をつけてください。

（無理に3つ選ぶ必要はありません。）

- |                                 |                   |
|---------------------------------|-------------------|
| 1. 新聞・雑誌・一般図書                   | 2. 録音・点字図書        |
| 3. パソコン                         | 4. 携帯電話・スマートフォン   |
| 5. ファックス                        | 6. テレビ（一般放送）      |
| 7. テレビ（手話放送・字幕放送）               | 8. ラジオ            |
| 9. 市の広報                         | 10. 区・町内会・自治会の回覧板 |
| 11. 市・県の福祉サービスガイド               | 12. 家族・友人         |
| 13. 同じサービスを利用している仲間             | 14. 施設や事業所        |
| 15. その他（                      ） | 16. 特にない          |

新 5 あなたは、障がいのある人が生活を送る上で必要な情報を入手するためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |   |               |
|---|---------------|
| 1. 点字による広報の充実                                       | 2. 音声による広報の充実 |
| 3. わかりやすい表現やひらがなによる広報の作成                            |               |
| 4. 市役所窓口での筆談や手話による対応の充実                             |               |
| 5. 手話通訳者派遣の拡充                                       | 6. 要約筆記者派遣の拡充 |
| 7. 情報意思疎通支援用具 <sup>※1</sup> の給付・貸与の拡充               |               |
| 8. 公共施設や店舗、レストランでのコミュニケーションボード <sup>※2</sup> の活用の推進 |               |
| 9. 公共施設内のわかりやすい案内（音声・点字・絵など）の充実                     |               |
| 10. まちなかでの案内サイン（音声・点字・絵など）の充実                       |               |
| 11. 地域のバリアフリーマップ（多機能トイレや安心して通行できる場所を示した地図）の作成       |               |
| 12. その他（                      ）                     |               |
| 13. 特にない  |               |

※ 1 情報意思疎通支援用具とは、視覚や聴覚、言語などに障がいのある人の情報収集、情報伝達や意思疎通などを支援する用具のことです。（活字読み上げ装置、点字器、ファックスなど）

※ 2 コミュニケーションボードとは、コミュニケーションの内容をイラスト化し、具体的に示すことによって、より円滑な意思疎通を図るためのツールのことです。



問 48 地震などの災害が起こったときに困ると思うことは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. どのように対応すべきか自分で判断し、行動することが難しい
2. 自分の状態を伝えることが難しく、周りの人に援助を求めることができない
3. 自力歩行が困難で、安全なところまですばやく避難できない
4. 避難場所で、被害状況や支援物資などの情報が入手できない
5. 避難場所で、周りの人とコミュニケーションが取れない
6. 一般の避難場所では、投薬や治療を受けることが難しい
7. 避難場所に多目的トイレなど生活できる環境が整っていない
8. 障がい（疾病）への理解が得られず、避難場所で生活できない
9. その他（ ）
10. 特に困ることはない

問 49 春日井市の災害時要援護者避難支援制度を知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

※ 災害時要援護者避難支援制度とは、ひとりぐらし高齢者や障がいのある人など、災害時の避難に支援を必要とする人について、あらかじめ希望により災害時要援護者名簿に登録することで、区・町内会・自治会などのご協力や、地域の皆さんの支え合い、助け合いにより避難支援を行うものです。

1. 知っている
2. 聞いたことはあるが、よくわからない
3. 知らない、聞いたことがない

問 50 災害時要援護者名簿に登録したいと思いませんか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. はい
2. いいえ
3. わからない
4. すでに登録している

問 51 問 50 で「2. いいえ」に○をつけられた方にお聞きします。

登録したくないと思う理由は何ですか。あなたのお考えに近いもので、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 個人情報保護されるか心配だから
2. 他人の世話になりたくないから
3. 必要だと思わないから
4. 自身の状況を知られたくないから
5. その他（ ）



問 52 地震や台風などの災害時に備え、障がいのある人や高齢者などの避難について、地域でどのようなことに取り組むべきだと思いますか。主なものに3つまで○をつけてください。(無理に3つ選ぶ必要はありません。)

- |                              |                     |
|------------------------------|---------------------|
| 1. 近所での日頃からの協力体制づくり          | 2. 災害時の情報伝達方法の確立    |
| 3. 災害時の生活を支援する体制の確立          | 4. 災害時の医療体制の確立      |
| 5. 福祉避難所*の拡充                 | 6. 避難訓練の実施など市民の意識啓発 |
| 7. ボランティアの受入れ体制の整備           | 8. 災害時の円滑な避難方法の確立   |
| 9. 障がいなど配慮が必要な人のための支援物資の確保   |                     |
| 10. 配慮が必要な人のためのトイレ設備やごみ処理の確保 |                     |
| 11. その他 ( )                  |                     |
| 12. わからない                    |                     |

※ 福祉避難所とは、障がいのある人や高齢者、妊産婦、乳幼児、病弱者など特別に配慮が必要な人が避難するための市が指定する避難場所です。春日井市には、現在 16 か所あります。(令和 4 年 10 月 1 日現在)

## 障がい者の人権についてお聞きします

問 53 障害者差別解消法では、国や地方公共団体、民間事業所で「合理的配慮」を提供することが求められています。あなたは、「合理的配慮」について知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

※ 合理的配慮とは、障がいのある人がない人と同じように生活するために、過大な負担とならない範囲で行う配慮や工夫のことです。

- |                  |                      |
|------------------|----------------------|
| 1. 知っている         | 2. 聞いたことはあるが、よくわからない |
| 3. 知らない、聞いたことがない |                      |

問 54 障害者虐待防止法(障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律)について知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

※ 障害者虐待防止法とは、国や地方公共団体、障がい者福祉施設従事者、使用者などに障がいのある人への虐待の防止等のための責務を課すとともに、虐待を受けたと思われる障がいのある人を発見した者に対する通報義務を課すなどとしている法律のことです。

- |                  |                      |
|------------------|----------------------|
| 1. 知っている         | 2. 聞いたことはあるが、よくわからない |
| 3. 知らない、聞いたことがない |                      |

問 55 障がい者虐待に関する通報を受けつける電話窓口の障がい者虐待防止ホットラインを知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

※ 障がい者虐待防止ホットライン 電話：0568-84-5310

1. 知っている
2. 聞いたことはあるが、よくわからない
3. 知らない、聞いたことがない

問 56 意思決定支援について知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

※ 意思決定支援とは、意思決定が困難な障がいのある人が、日常生活や社会生活等に関して自分自身が行いたいと思う生活を送ることができるよう、障がいのある人を支援することです。

1. 知っている
2. 聞いたことはあるが、よくわからない
3. 知らない、聞いたことがない

問 57 障がい（疾病）があることで、普段の生活で不適切な対応をされたり、いやな思いをしたりしたことがありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. よくある
2. ときどきある
3. あまりない
4. まったくない

問 58 ヘルプマークについて、知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

※ ヘルプマークとは、外見からわからなくても援助や配慮を必要としている方が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせるマークです。

1. 知っていて、持っている
2. 知っているが、持っていない
3. 聞いたことはあるが、よくわからない
4. 知らない、聞いたことがない

問 59 ヘルプカードについて、知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

※ ヘルプカードとは、障がいの内容や緊急連絡先、必要な支援などを記入して携帯し、障がいへの理解や助けを求めるためのカードです。

1. 知っていて、持っている
2. 知っているが、持っていない
3. 聞いたことはあるが、よくわからない
4. 知らない、聞いたことがない

問 60 難病患者を含む障がいのある人への理解を深めるために、今後どのような取り組みが必要だと思えますか。主なものに3つまで○をつけてください。(無理に3つ選ぶ必要はありません。)

1. 学校における児童、生徒の障がいへの理解を促す教育
2. 障がいの有無に関わらず参加できる行事・イベントの開催
3. ボランティア活動の促進
4. 障がい理解のための広報・啓発活動
5. 障がいのある人の施設入所から在宅生活への移行
6. その他 ( )
7. 特にない

## 障がい者施策についてお聞きします

問 61 5年前と比べて福祉・教育・雇用・まちづくりなどの難病患者を含む障がい者施策は進んだと思えますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. 非常に進んだと思う
2. 多少進んだと思う
3. 変わらないと思う
4. 後退したと思う
5. わからない

問 62 春日井市における福祉・教育・雇用・まちづくりなどの難病患者を含む障がい者施策について満足していますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. 満足している
2. ある程度満足している
3. やや不満である
4. 不満である
5. わからない

問 63 今後、特に充実すべきだと考える難病患者を含む障がい者施策について、主なものに5つまで○をつけてください。(無理に5つ選ぶ必要はありません。)

1. 相談支援の相談員やヘルパー、施設の支援員など、障がいのある人の日常生活を支援する人や施設の数を増やすこと
2. 相談支援の相談員やヘルパー、施設の支援員など、障がいのある人の日常生活を支援する人の支援や施設の設備の質を高めること
3. 障がいのある人が身近な病院や診療所で検診や検査を受けることができるようにすること
4. 障がいのある人が負担する医療費を減らすこと
5. 可能な限り障がいのある児童・生徒が障がいのない児童・生徒と共に学ぶことができるようにすること
6. 障がいのある人が気軽に文化芸術活動・スポーツ・レクリエーションを行うことができるようにすること
7. 障がいのある人がその適性に応じて能力を十分に発揮することができるよう、就労を支援すること
8. 福祉サービスの日中活動事業所などに通所する人の工賃の水準を向上させること
9. 障がいのある人のための住宅を確保すること
10. 公共施設、駅、デパートなどをバリアフリー化すること
11. 障がいのある人が容易にすばやく情報を得ることができるようにすること
12. 障がいのある人が災害時の避難で困らないような体制をつくること
13. 障がいのある人に対する差別をなくすこと
14. 障がいのある人に対する虐待を防ぐこと
15. 医療的ケアが必要な人に対応できる事業所を増やすこと
16. その他 ( )
17. 特になし

問 64 普段、生活している中で困っていることや将来への不安、春日井市の難病患者を含む障がい者福祉について、ご自由にお書きください。

-----

-----

-----

-----

-----

## ここからは、宛名の方のご家族にお聞きします

問1 宛名の方は、日常生活において家族の方などの支援（見守りなどの配慮を含む。問10まで同じ。）を必要としていますか。どちらかに○をつけてください。

1. 支援が必要

2. 自分で日常生活を送ることができる

問11へ

●問2～問10は、問1で「1. 支援が必要」に○をつけられた方にお聞きします。

※ 主に支援をしている方が、お答えください。

問2 宛名の方から見てあなたは次のどれにあたりますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. 夫・妻

2. 親

3. 子ども

4. 子どもの夫・妻

5. 兄弟姉妹

6. 祖父・祖母

7. 孫

8. その他の親族

9. その他（ ）

問3 あなたの性別について、あてはまるものに○をつけてください。

1. 男

2. 女

問4 あなたの年齢を数字で記入してください。（令和4年10月1日現在）

満 \_\_\_\_\_ 歳

問5 あなたは仕事をしていますか。どちらかに○をつけてください。

1. はい

2. いいえ

問6 あなたが1日あたりの支援にかけている時間はどれくらいですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. 2～3時間程度

2. 4～6時間程度

3. 7～8時間程度

4. 1日の大半

5. ほぼ1日中（夜間も支援が必要）

6. その他（ ）

問7 あなたが宛名の方ご本人の支援について、負担に感じることはありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. 大変負担に感じている

2. やや負担に感じている

3. あまり負担に感じていない

4. 負担に感じていない

問8 あなたが支援する上で困っていることは何ですか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。(無理に3つ選ぶ必要はありません。)

- |            |                     |
|------------|---------------------|
| 1. 外出できない  | 2. 心身が疲れる           |
| 3. 相談相手がない | 4. 必要な時に他の人に支援を頼めない |
| 5. その他 ( ) | 6. 特にない             |

問9 あなたは、支援する上で困ったとき、だれに相談していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |               |                           |
|---------------|---------------------------|
| 1. 家族         | 2. 同じ障がい(疾病)のある家族をもつ友人・知人 |
| 3. 2以外の友人・知人  | 4. 病院などの医療機関              |
| 5. 施設や事業所の職員  | 6. 市の窓口                   |
| 7. 相談支援センター   | 8. いない                    |
| 9. 困っていることはない | 10. その他 ( )               |

問10 今後、あなたは、どのように支援していきたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. 自宅で家族などを中心に支援していきたい
2. 自宅で福祉サービスを利用しながら支援していきたい
3. グループホームに入居し、福祉サービスを利用しながら支援していきたい
4. 施設や病院などに入所・入院させたい
5. その他 ( )
6. わからない

ここからはすべての方にお聞きします。

問11 あなたは、近所の方とどのようなお付き合いをされていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- |                  |                    |
|------------------|--------------------|
| 1. 困ったときに助け合える程度 | 2. 互いに訪問し合う程度      |
| 3. 立ち話をする程度      | 4. 顔を合わせたらあいさつする程度 |
| 5. ほとんど付き合いはない   |                    |

問 12 あなたは、福祉サービスを利用するための方法やサービスの内容について、知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. よく知っている
2. おおまかには知っている
3. あまり知らない
4. 知らない

問 13 障害者差別解消法では、国や地方公共団体、民間事業所で「合理的配慮」を提供することが求められています。あなたは、「合理的配慮」について知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

※ 合理的配慮とは、障がいのある人がない人と同じように生活するために、過大な負担とならない範囲で行う配慮や工夫のことです。

1. 知っている
2. 聞いたことはあるが、よくわからない
3. 知らない、聞いたことがない

問 14 あなたは、障害者虐待防止法（障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律）について知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

※ 障害者虐待防止法とは、国や地方公共団体、障がい者福祉施設従事者、使用者などに障がいのある人への虐待の防止等のための責務を課すとともに、虐待を受けたと思われる障がいのある人を発見した者に対する通報義務を課すなどとしている法律のことです。

1. 知っている
2. 聞いたことはあるが、よくわからない
3. 知らない、聞いたことがない

問 15 あなたは、成年後見制度について、知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

※ 成年後見制度とは、判断能力が不十分な人が契約等の法律行為ができるよう、家庭裁判所が判断能力の程度に応じて補助人、保佐人、成年後見人を選任する民法上の制度です。

1. 知っている
2. 聞いたことはあるが、よくわからない
3. 知らない、聞いたことがない

問 16 あなたは、宛名の方について、将来的に成年後見制度を利用させたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. 利用させたい
2. 利用させたくない
3. 利用させる必要がない
4. すでに利用させている
5. わからない

問 17 あなたは、日常生活自立支援事業について、知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

※ 日常生活自立支援事業とは、契約の判断、お金の出し入れ、書類の整理等に不安のある方が安心してくらすよう援助する制度です。

1. 知っている
2. 聞いたことはあるが、よくわからない
3. 知らない、聞いたことがない

問 18 あなたは、宛名の方について、将来的に日常生活自立支援事業を利用させたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. 利用させたい
2. 利用させたくない
3. 利用させる必要がない
4. すでに利用させている
5. わからない

問 19 あなたは、災害などの緊急事態が発生した場合の避難場所を知っていますか。どちらかに○をつけてください。

1. 知っている
2. 知らない

問 20 あなたは、春日井市の災害時要援護者避難支援制度を知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

※ 災害時要援護者避難支援制度とは、ひとりぐらし高齢者や障がいのある人など、災害時の避難に支援を必要とする人について、あらかじめ希望により災害時要援護者名簿に登録することで、区・町内会・自治会などのご協力や、地域の皆さんの支え合い、助け合いにより避難支援を行うものです。

1. 知っている
2. 聞いたことはあるが、よくわからない
3. 知らない、聞いたことがない

問 21 あなたは宛名の方について、災害時要援護者名簿に登録したいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. はい
2. いいえ
3. わからない
4. すでに登録している

問 22 問 21 で「2. いいえ」に○をつけられた方にお聞きします。

登録したくないと思う理由は何ですか。あなたのお考えに近いもので、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 個人情報保護されるか心配だから
2. 他人の世話になりたくないから
3. 必要だと思わないから
4. 家族の状況を知られたくないから
5. その他 ( )



問 23 あなたは、意思決定支援について知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

※ 意思決定支援とは、意思決定が困難な障がいのある人が、日常生活や社会生活等に関して自分自身をしたいと思う生活を送ることができるよう、障がいのある人を支援することです。

1. 知っている
2. 聞いたことはあるが、よくわからない
3. 知らない、聞いたことがない

問 24 あなたは、難病患者を含む障がいのある人への理解を深めるために、今後どのような取り組みが必要だと思えますか。主なものに3つまで○をつけてください。(無理に3つ選ぶ必要はありません。)

1. 学校における児童、生徒の障がいへの理解を促す教育
2. 障がいの有無に関わらず参加できる行事・イベントの開催
3. ボランティア活動の促進
4. 障がい理解のための広報・啓発活動
5. 障がいのある人の施設入所から在宅生活への移行
6. その他 ( )
7. 特にない

問 25 その他、将来への不安などご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

ご協力いただきありがとうございました。アンケート結果は、令和5年3月末に市ホームページで公表する予定です。